



# 学校便り

海老名市立杉本小学校  
令和3年5月20日

校長 小川百合子  
TEL 233-6451

少しづつクラスになれ学習に集中する姿、友達とふざけあう姿などいろいろな姿が見られるようになってきました。子どもたちはクラスの一員として自分の役割や、友達との関係など自分の居場所を得てきているのではないかと考えています。

学校では、コロナウイルス感染予防のため皆様に様々なことにご協力いただきながら、教育活動を進めています。ご理解ご協力ありがとうございます。個別面談では、熱を測って来校していただいたり、ついたて越しの会話など今までは考えられないような場の設定をさせていただいたりして面談を行いました。それでも保護者の皆様と顔を合わせてお話する機会が持てたこと、大変うれしく思っています。また、面談でお伺いしたことは今後の教育活動に生きてくるのではないかと考えています。お時間を作っていただきましてありがとうございました。今後も何か気になることがございましたら、担任や教育相談コーディネーターにご相談ください。ありがとうございました。

**【言葉】**大人の言葉が子供の行動を変化させることがあります。言葉は時にはスイッチになったり、とげになったりします。子どもに声をかけるとき一つ一つの言葉の効果を考えなくてはなりません。子どもたちの成長を願わない大人はいません。声をかけられた子どもがどう受け取っているのか注意深く見ていくことの大切さを感じています。

## 初めてのお使いならぬ

### 「はじめての zoom 会議」!

社会では当たり前なのかもしれませんが…初めて「zoom 会議」を経験しました。結局一人ではできずパソコンが得意な職員に手伝ってもらいました。始まる前から緊張してかなりドキドキでした。約2時間の会議でしたが、お互いの顔を見ながら話しができるので書面や電話より理解しやすいように感じました。人間の9割が表情やボディランゲージによる伝達だといわれていますが zoom 会議を通してあらためて「相手の目を見て話す」「うなずきながら聞く」大切さを感じました。

**【5年生の田おこし】**杉本小学校の前に学校で使わせていただいている田んぼがあります。5月11日に地域の方と一緒に「田おこし」を行いました。コメは漢字では「米」と書き、八十八回の作業や手入などをして米が実るのでこういう形の漢字になったともいわれています。子どもたちは、雑草のたくさん生えた固い土から草を引き抜く作業をした後、地域の方が機械で耕してくださるところを見学しました。機械で耕したあともう一度田んぼに入り、足から伝わる感触の違いに驚いていました。稲が実るまでにはまだまだたくさんの工程がありますが、少しでも稲作を身近に感じ、学習につなげてほしいと思っています。

